

出展要項

1 出展小間料金について

(1)出展小間料金

■通常プラン

①会員 407,000円(税込)/1小間(間口3m×奥行3m)

②一般 473,000円(税込)/1小間(間口3m×奥行3m)

※①は(一社)日本施設園芸協会会員をさします。
※野菜流通カッタ協議会、青果物選果予冷施設協議会の会員が、「流通・加工・包装」分野へ出展する場合は、①の会員料金が適用されます。

■スタートアップ企業プラン(先着順)

236,500円(税込)/1小間(間口3m×奥行1.5m)

※スタートアップ企業プランは、「会社設立10年未満の会社(申込時を起算)」が対象となります。
※法人登記簿のデータご提出をお願いします。

(2)角小間指定料金 ※通常プランのみ

出展申し込み時に、有料で角小間を指定いただけます。(先着順)

110,000円(税込)/1社

※小間数に関わらず、上記の料金です。
※4小間以上お申し込みの場合は、原則、角小間になるため指定不要です。
※指定のない小間に関しては、小間数、申込順、実演の有無等を考慮して配置します。

2 出展申込の解約(キャンセル)

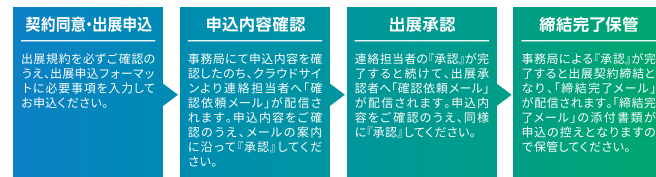
いったん申し込んだ出展の取り消し・変更は原則としてできません。万一、申込者により取り消し、または変更があった場合は、下記のキャンセル料が発生します。

書面による解約通知を受理した日	キャンセル料
2026年3月31日(火)以前	出展小間料金(税込総額)の50%
2026年4月1日(水)以降	出展小間料金(税込総額)の100%

申込方法について

(1)出展申込方法・出展申込(WEB)のフロー

公式WEBサイト「出展申込(WEB)」よりお申込みください。
原本提出・印鑑不要。出展申込から契約までWeb上で完結します。



※本システムは弁護士ドットコム株式会社が運営するクラウド型契約サービス「クラウドサイン」を利用した出展申込受付システムです。申込情報に基づき電子署名された出展申込書のPDFファイルを作成し、いつ、誰が承認したかを記録し、保存することで、出展申込から承認までをオンラインで完結します。

(2)申込締切

申込締切 2026年2月27日(金) 但し、予定小間数に達し次第締切ります

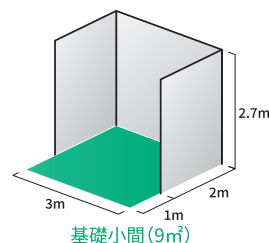
(3)申込の保留・取消

出展内容が本展示会の趣旨にそぐわないと判断した場合、事務局はその受付を保留または拒否することがあります。

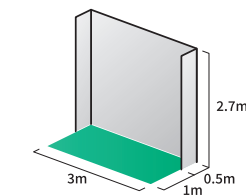
3 小間規格について

(1)基礎小間

- 基礎小間には、隣接する小間がある場合、境界を仕切るバックパネル、サイドパネルを事務局が設置します。
- 独立小間には、パネルは設置いたしません。
- 角小間など隣接する小間がない場合、サイドパネルは設置しません。
- 社名板、カーペット、テーブルやイスなどの備品は含まれておりません。



基礎小間(9㎡)

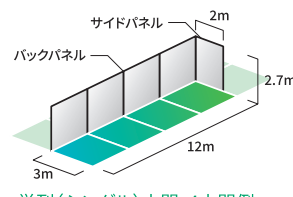


スタートアップ小間(4.5㎡)

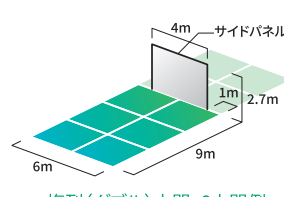
(2)小間規格

小間(9㎡)は以下の3種類があります。

- ・単列小間
- ・複列小間(4小間以上)
- ・独立小間(12小間以上)



単列(シングル)小間・4小間例



複列(ダブル)小間・6小間例

会期までのスケジュールについて

2026年2月27日(金)	出展申し込み締切
3月31日(火)	出展料金支払期限
4月	出展準備資料一式配信 (小間レイアウト等)
7月13日(月)・14日(火)	搬入・装飾
7月15日(水)~17日(金)	施設園芸・植物工場展 2026(GPEC)会期

パッケージブース (別途有料)

ベーシックプラン (1小間) レンタル価格: 110,000円(税込)

- ①パンチカーペット/9㎡
- ②バラベットのH300
- ③社名板/1枚(W1800×H200)
※ロゴ指定・社名マーク使用可
- ④受付カウンター/1台(W900×D450×H750)
- ⑤パイプイス/1脚
- ⑥貴名受/1ヶ

※上記パッケージプランには電気設備工事及び電気使用料、電気照明備品は含まれておりません。
電気照明備品、電気供給が必要な場合は別途申込みが必要です。
※角小間の場合は通路側の壁はなく、バラベットのつきます。

スタンダードプラン (1小間) レンタル価格: 150,700円(税込)

- ①パンチカーペット/9㎡
- ②バラベットのH300
- ③社名板/1枚(W1800×H200)
※ロゴ指定・社名マーク使用可
- ④展示台(引付付)/1台(W990×D495×H750)
- ⑤L型展示台/2台(W990×D495×H750)
- ⑥受付カウンター/1台(W900×D450×H750)
- ⑦パイプイス/1脚
- ⑧貴名受/1ヶ

※上記パッケージプランには電気設備工事及び電気使用料、電気照明備品は含まれておりません。
電気照明備品、電気供給が必要な場合は別途申込みが必要です。
※角小間の場合は通路側の壁はなく、バラベットのつきます。

技術を極め、未来を耕す、 革新の施設園芸



出展のご案内

GPEC

Greenhouse Horticulture &
Plant Factory Exhibition / Conference
施設園芸・植物工場展

2026

7.15

水
WED

»»

17

金
FRI

東京ビッグサイト 南1・2ホール

主催: 一般社団法人 日本施設園芸協会
後援: 農林水産省、経済産業省、(一社)全国農業協同組合中央会(JA全中)、
全国農業協同組合連合会(JA全農)、農林中央金庫、(一社)全国農会協議所、
(公社)全国農業共済協会、(株)日本政策金融公庫 (順不同 申請予定)
共催: アテックス(株)

www.gpec.jp

お問い合わせ

GPEC事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル4階 アテックス(株)内
TEL: 03-3503-7703 FAX: 03-3503-7620 E-mail: ofc@gpec.jp

www.gpec.jp

主催者あいさつ



一般社団法人 日本施設園芸協会 会長

大出 祐造

施設園芸・植物工場展2026(GPEC)がいよいよ始動いたします。本展は施設園芸・植物工場に特化したわが国唯一の専門展示会として、今回で第9回目を迎えます。2024年のGPECにおいては、農業資材やエネルギー価格高騰等によって、施設園芸に係わる皆様にとって、大変厳しい環境ではありましたが、4万人を超えるご来場がありました。

ウクライナや中東情勢などによって、原油や原材料への影響が引き続き心配される中、農業資材やエネルギーの高騰や気象変動等による米・野菜等農産物の生産・流通・価格への影響は、施設園芸の農業者や業界にとって、その厳しさが高まることが懸念されます。

一方、農林水産省等においては、食料の安定供給の重要性が高まる中、2024年(令和6年)に食料・農業・農村基本法改正され、新たな食料・農業・農村基本計画も今年に公表されました。また、2026年度(令和8年度)予算概算要求においても、農業構造転換集中対策を着実に実施することとして、農業に関わる生産流通の基盤強化が掲げられています。大きな農政の転換に当たっては、農業・農村における所得と雇用の確保に最も効果が期待される施設園芸においても、安いエネルギー供給や地域における効果的な土地利用等に対し、国や地方自治体、農業関係団体等のリーダーシップが期待しているところです。

また、発展の著しいスマート農業の展開は、施設園芸においても、植物生産を最適化する環境制御、養液栽培システム及び自動化・ロボット化等の開発が進むとともに、データの利活用への環境整備も一層の発展を遂げています。さらに、近年課題となっている高温対策への取組やみどりの食料システム戦略など、生産と環境の調和が大きな方向となる中で、地域の営農システムの構築やこれらに関係する技術開発・普及における業界と国・地方自治体等地域の指導機関との連携の重要性が高まっています。

GPEC2026は、大きな変革の中で「技術を極め、未来を耕す、革新的施設園芸」をテーマに、こうした新技術の導入により、生産性の向上と環境との調和による持続的な施設園芸を考えている皆様に向けて、まさに先進な考え方や技術を学ぶ場として絶好の機会を提供するものです。特に、この度は、施設園芸に係る新技術の理解を深めていただくために、展示される製品やブースに表彰イベントを行う予定です。

また、GPECは、農閑期である7月に開催しております。これは、来場者の主体は「この産業を支える生産者である」ことを肝に銘じ、来場されたすべての方が、必ず何らかのヒントをお持ち帰りいただける展示会となることを願って、主催者展示や多彩なセミナーなどを企画してまいりました。その結果、全国の生産者の皆様はもとより、生産者と企業、企業同士の商談も盛んに行われ、展示に参加された企業の皆様にも非常に高い評価をいただいております。

GPEC2026でも継承され、全国の農業者の皆様にご大変期待していただける内容の取り組みになるものと考えています。開催までに複数回発行される「GPEC NEWS」等を通じて、展示会の詳細を紹介し、全国から仲間を誘って来場していただけるように最大限の努力を払う所存であります。

関係企業および機関・団体の皆様におかれましては、ぜひGPEC2026にご出展いただき、皆様の新たな技術、製品を積極的にPRされ、新しい日本農業の明日を導くものとして寄与されることを期待しております。

開催概要

名 称：施設園芸・植物工場展2026(GPEC)
Greenhouse Horticulture & Plant Factory
Exhibition / Conference

会 期：2026年7月15日(水)～17日(金) 10:00～17:00

会 場：東京ビッグサイト 南1・2ホール

主 催：(一社)日本施設園芸協会

後 援：農林水産省、経済産業省、
(一社)全国農業協同組合中央会(JA全中)、
全国農業協同組合連合会(JA全農)、農林中央金庫、
(一社)全国農業会議所、(公社)全国農業共済協会、
(株)日本政策金融公庫(順不同 申請予定)

共 催：アテックス(株)

出展者数：国内外200社・団体(目標)

入場方法：事前来場登録制(無料)

GPEC実行委員会委員構成

委員長 高山 弘太郎	豊橋技術科学大学／大学院 工学研究科 機械工学系 教授 愛媛大学／大学院 農学研究科 食料生産学専攻 教授
大 出 祐 造	株式会社誠和。／会長
石 黒 信 生	イノチオアグリ株式会社／代表取締役社長
福 田 晴 久	ネボン株式会社／代表取締役社長
石 山 健 博	全国農業協同組合連合会／耕種資材部 次長
江 口 義 昌	AGCグリーンテック株式会社／事業統括室 取締役
古 指 典 史	東都興業株式会社／取締役 本社営業二部 部長
渋谷 忠 宏	全国野菜園芸技術研究会／会長
鈴木 格 方	渡辺パイプ株式会社／執行役員 グリーン事業部 事業部長
丸 尾 達	公益財団法人 園芸植物育種研究所／理事長・所長
東 出 忠 桐	農研機構 野菜・花き研究部門／所長
鈴木 健 嗣	株式会社大仙／代表取締役社長
村 田 求 之	カネコ種苗株式会社／執行役員 施設部長
有 光 大 幸	有光工業株式会社／代表取締役社長
五十嵐 武彦	サンキンB&G株式会社／農芸事業部 取締役 事業部長
岩 崎 泰 永	明治大学 農学部／教授
大 賀 泰 光	タキロンシーアイ株式会社／フィルム事業本部 本部長補佐 アグリ営業統括
久保田 光昭	アキレス株式会社／農業資材販売部 部長
近 藤 了 裕	株式会社サカタのタネ／執行役員 国内営業本部 副本部長
柴 本 勝 敏	MKVアドバンス株式会社／代表取締役社長
中 野 明 正	千葉大学 園芸学研究院 宇宙園芸研究センター／教授
古 田 成 広	フルタ電機株式会社／代表取締役社長
福 嶋 正 人	ヤンマーアグリ株式会社／経営企画部 東京企画室 専任部長
増 澤 佳 浩	クボタアグリサービス株式会社／農業施設統括部 部長補佐

(敬称略、順不同、役職は就任当時)

GPECについて

1 国内唯一、施設園芸・植物工場の専門展示会

GPECは施設園芸・植物工場分野における我が国唯一の専門展示会です。2年に1回開催され、初開催から9回を数える本展示会は、メーカーや生産者の交流や情報交換を通じ、業界を牽引する大きな役割を持ちます。例年、業界をリードする主要メーカーが参加し、生産者の抱える課題に対する解決策を提示します。今回のGPEC2026でも日本を代表する施設園芸・植物工場のイベントとして国内外に比類ない施設園芸技術を発信します。

GPECが発信する施設園芸技術：

3つの軸

生産量を
増やす技術

生産量を
減らさない技術

コストを
減らす技術

2 施設園芸・植物工場に携わる生産者 農業の新規参入希望者が数多く来場

GPECは園芸資材メーカー、販売会社を中心に構成される(一社)日本施設園芸協会の主催する、業界での知名度と生産者への動員力を持った展示会です。施設園芸の農閑期となる7月に開催し、生産者が多く来場します。また、近年の一次産業への注目度は高く、同時開催の「アクアポニックス・陸上養殖設備展」とあわせて農業への新規参入希望者や、企業の新規事業開発担当の来場を多く集めています。

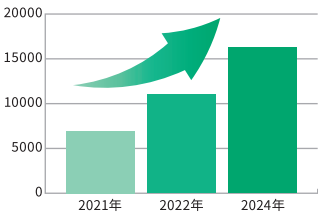
来場者数

日付	天気	登録者数	来場者数
7月24日(水)	晴れ	4,879	11,399
7月25日(木)	晴れ時々雨	5,697	15,142
7月26日(金)	曇り	5,685	15,023
合 計		16,261	41,564

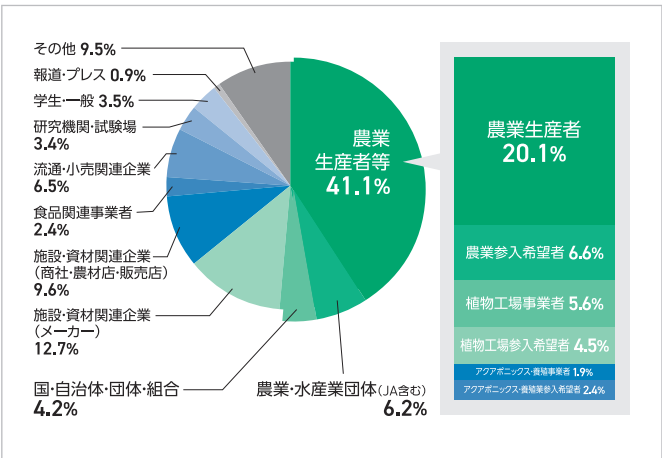
*登録者数：氏名・会社名等の来場登録を行った人数。会期中1カウントとし、再入場は含まない。

*来場者数：来場した延べ人数(再入場を含む)

来場者前回比
47%増加



業種別比率

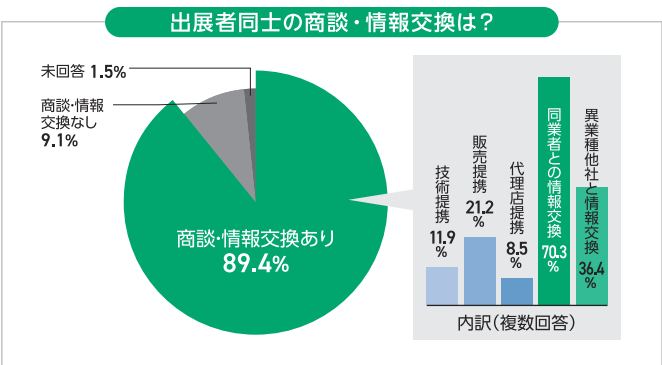
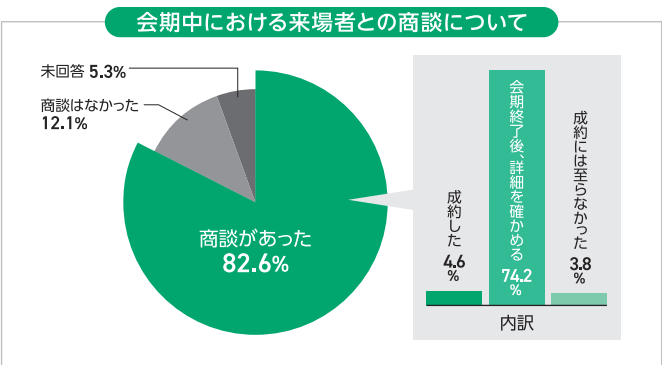


3 活発な商談が行われる展示会

本展示会は業界の有識者によるセミナーや生産者向けの相談コーナーを併催しており、明確な課題や目的を持った生産者が多く来場しています。出展製品やサービスのエンドユーザーへの効率的なビジネスマッチングを創出します。



出展者アンケート



同時開催展



アクアポニックス・陸上養殖設備展

ー 水耕循環型農業と陸上養殖設備・資材の専門展示会 ー

アクアポニックス(水耕栽培+養殖)システム・陸上養殖関連設備・システム、生産管理機器・資材、種苗・育成・輸送・加工など、アクアポニックスと陸上養殖における「循環型」をテーマとした製品・技術やサービスが一堂に集まる専門展示会

出展対象

施設本体・資材



ハウス・太陽光利用型植物工場（栽培施設・資材）

ハウス本体、ハウス構成部材・部品、外張・内張フィルム（農ビ、農PO、フッ素フィルム、硬質板 など）、保温・遮光資材、防虫・防風・防獣ネット、防草シート、被覆材構成部材・部品



人工光型植物工場（栽培施設・資材）

植物工場本体、植物工場本体構成部材・部品

生産管理機器・資材



被覆資材、遮光資材

NEW

フィルム資材（PE、EVA、PO、フッ素）、ガラス、硬質プラスチック板（アクリル・ポリカーボネート）、遮光ネット、反射型資材、アルミ蒸着ネット、カーテン資材 など



種苗、育苗資材、育苗システム

種子・種苗、接木・育苗関連資材、生育状況観察システム、播種機、鉢 など



肥料、農薬、受粉・天敵昆虫、IPM

有機質・無機質肥料、液体肥料、植物活性剤、除草剤、ミツバチ、天敵昆虫・生物、土壌改良剤、土壌診断サービス、殺虫剤、消毒剤、消毒サービス など



環境制御装置・技術

光量・温度・湿度・CO₂・風量センサー、土壌成分計測システム、養液管理システム、その他各種センサー、タイマー、計測・制御システム、自動機器 など

スマートアグリ提案



スマートアグリ機器・システム

NEW

IoT、AI、クラウドサービス、生産管理システム、栽培管理システム、遠隔監視システム、端末機器、ビッグデータ解析技術、アシストスーツ、サポートウェア・機器、自動化機器・ロボット（播種機、施肥機、収穫機、箱詰め機） など



スマートエネルギー

NEW

太陽光発電・太陽熱利用システム、バイオマスエネルギー、木質チップ・ペレットボイラー、バイオガス発電、地中熱ヒートポンプ、排熱利用技術、風力・水力発電システム、EMS・バッテリーシステム、CO₂回収・再利用システム など

付帯設備・機器



施設園芸用

カーテン装置、自然換気・強制換気装置（天窓、側窓、谷窓、妻窓、換気扇、循環扇 など）、局所加温装置、冷・暖房装置、太陽光発電システム、バイオマス技術、SDGs対策、省エネ対策、光合成促進装置（炭酸ガス発生装置など）、灌水・散水装置、防除・土壌消毒装置（動力噴霧機、無人防除機 など）、養液栽培・養液土壌栽培装置、栽培ベッド、果樹棚装置、栽培ベンチ装置（移動ベンチ など）、補光装置（電照装置を含む）、収穫機器・運搬資材、ファインパブル発生装置、ハウス清掃用品・洗浄機、その他 付帯設備・機器・装置



植物工場用（太陽光利用型・人工光型）

光環境装置（LED、蛍光／冷陰極／無電極ランプ など）、給排水処理プラント装置、太陽光発電システム、バイオマス技術、SDGs対策、省エネ対策、空調システム、栽培ベッド、栽培ベンチ装置（移動ベンチ など）、収穫機器・運搬資材、その他 付帯設備・機器・装置

流通・加工・包装



流通・加工

計量機、梱包機、選果機、選別機、洗浄機、異物検出・除去装置、包装機器・資材、搬送器具、搬送機械、温度管理システム、流通システム、集出荷施設、集出荷機器・資材、予冷施設・機器、貯蔵庫・施設、乾燥機、加工施設、加工機器・資材 など



包装・パッケージ

包装機械、食品容器、フィルム袋、ネット、バック、トレー、ラベル・シーラー、ラベル剥離機、包装資材 など

農業リスク・労務管理



農業リスク対策資機材

NEW

自然災害対策、監視カメラ、センサー、侵入防止装置、暑さ対策、防虫・防鳥ネット、病害虫対策関連製品、非常用電源・蓄電池・自家発電設備、災害時対応型給水・排水システム、通信・遠隔監視システム など



労務対策システム

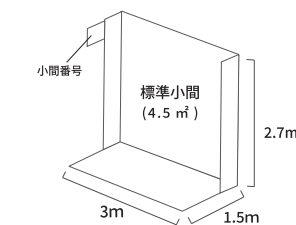
NEW

勤怠管理・労務管理ソフト、作業安全管理システム、作業負担軽減機器、外国人労働者管理・教育支援ツール など

特別企画ブース

スタートアップ出展プラン（先着順）

農業に変革をもたらすスタートアップ企業の出展をサポート！出展しやすいミニブースプランです。



出展料金

236,500 円(税込)／1社

※装飾パッケージプラン有。
別途お申込みください。(有料)

出展条件

2016年以降の設立会社

法人登記簿のデータご提出が必要

1社につき、1小間のみお申込み可能



出展者特典

全出展者無料 訪問者データ提供サービス

二次元コードを活用した来場者管理システムにより、ブースを訪問した来場者の情報をリアルタイムで取得することが可能。効率の良いリード獲得と、会期後のスムーズなアフターフォローで出展効果アップにつながる強力なツールを無料で利用できます。



専用アプリで読込



ブース訪問者の情報をリアルタイムで管理
リストのダウンロードも可能

※利用イメージ

出展者向け企画

出展者交流会

例年出展企業・団体が一堂に会する交流の場を設けています。業界内のネットワークづくりや新たなビジネスチャンスの発掘につながる貴重な機会となっています。

●開催日 2026年 7月15日(水) 17:30～19:00(予定)

●会場 東京ビッグサイト内レストラン(予定)



GPEC Agri-Innovation Award(仮) 新企画！

新技術の認知や業界の活性化を目的とし、GPEC2026では展示会に付帯した技術表彰制度を企画中。出展者からエントリーを受け付け、審査や来場者投票によって受賞製品を決定。受賞者には会期中の表彰を行います。



出展PRオプション

出展者セミナー

課題を持った来場者へ直接アプローチが可能！

- 開催日 2026年 7月15日(水)～17日(金)
 - 会場 東京ビッグサイト 南ホール内 セミナー会場
 - 定員 80名(予定)
 - 利用時間 30分／1セッション
 - 備品 スクリーン、プロジェクター、演台、マイク、聴講者用イス(予定)
- 会期終了1～2週間後を目途に、聴講登録者情報を展開いたします。

【利用料金】 88,000 円(税込)／1セッション

会場マップ広告

来場者が手に取る会場マップで貴社ブースのアピールが可能！

- 配布方法 開催期間中の来場者へ会場入口にて無料配布
- 仕様 横40mm×縦20mm、4色 ※jpeg, png, AIファイル形式で入稿下さい。

【利用料金】 165,000 円(税込)



来場対象

農業生産者・農業参入希望者

植物工場事業者・植物工場参入希望者

農業団体（JA含む）

国・自治体・団体・組合

研究機関・試験場

農業施設資材メーカー

流通・商社・販売店・農材店

食品関連事業者

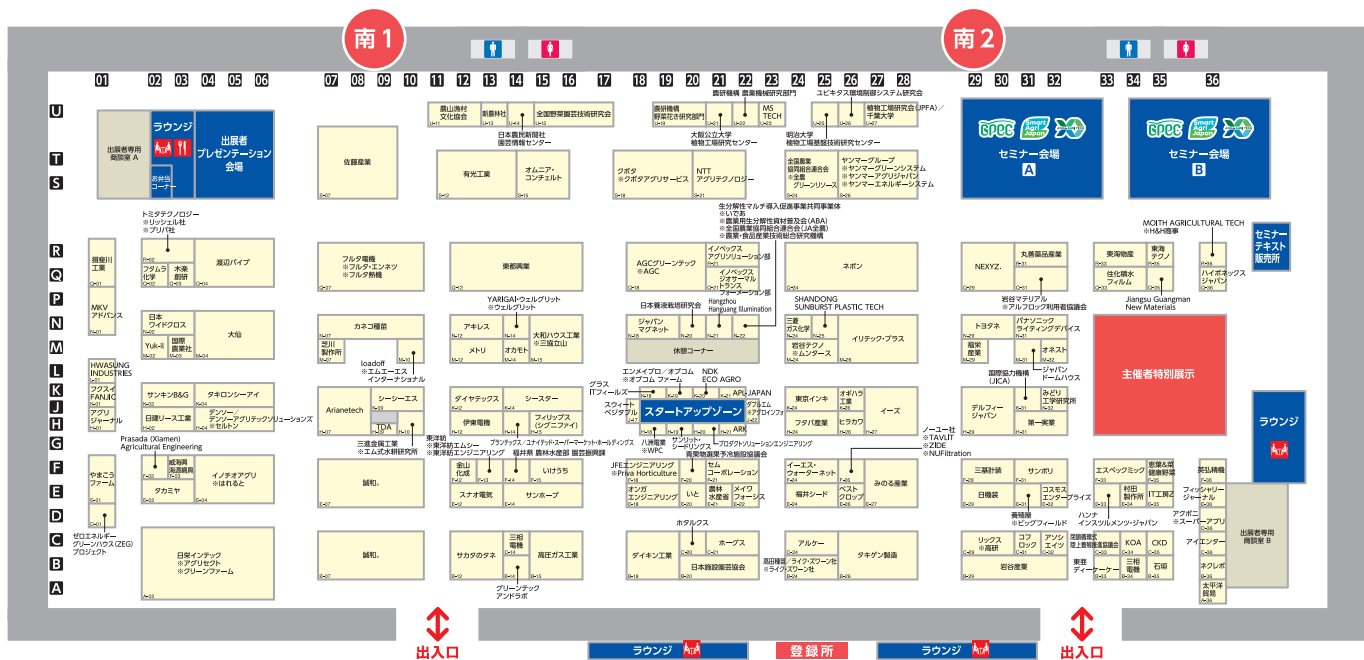


GPEC出展者

(前回:GPEC 2024)

会場マップ

(社名は開催時点)



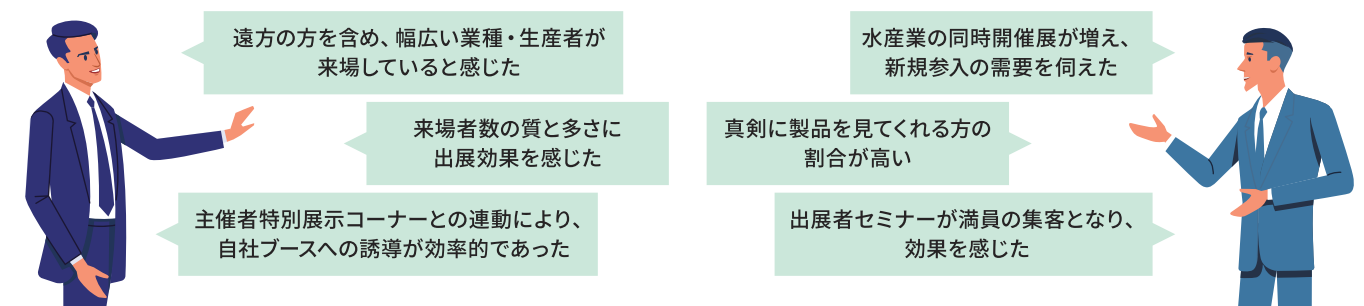
出展者一覧

(GPEC 2024)

(同時開催展・共同出展者含む)

あ	エ	ス	タ	ノ	や
ARK アイエンター IT工房Z アキレス アクボニ ※スーパーアプリ アグリジャーナル アソシエイツ 有光工業 アルケー イーエス・ウォーターネット イーズ いけうち 石垣 いと 伊東電機 イノチオアグリ ※はれと イノベックスアグリソリューション部 イノベックスジョーナル・フォーメーション部 損斐川工業 イリテック・プラス 岩谷産業 岩谷テクノ ※ムンタース 岩谷マテリアル ※アルフロック利用者協議会 英弘精機 AGCグリーンテック ※AGC APL-JAPAN エスベックミック NDK ECO AGRO NTTアグリテクノロジー MKVアドバンス	エンメイプロ/オプコム ※オプコムファーム 大阪公立大学植物工場研究センター オカモト オギハラ工業 オネスト オムニア・コンチェルト オンガエンジニアリング か 金山化成 カネコ種苗 木楽創研 クボタ ※クボタアグリサービス グラスITフィールズ グリーンテックアンドラボ 恵康・栗 健康野菜 高圧ガス工業 KOA 国際協力機構 (JICA) 国際農業社 コスモスエンタープライズ コフロック さ サカタのタネ 佐藤産業 三基計装 サンキンB&G 三進金属工業 ※エム式水耕研究所 三相電機 サンボープ サンボリ サンリット・シードリングス CKD シーシーエス	シースター JFEエンジニアリング ※Priva Horticulture 芝川製作所 ジャパンドームハウス ジャパンマグネット 植物工場研究会 (JPFA) / 千葉大学 ※千葉大学 新農林社 スウィートベジタブル スナオ電気 住化積水フィルム 青果物選果予冷施設協議会 生分解性マルチ導入促進事業共同事業体 ※いであ ※農業用生分解性資材普及会 (ABA) ※全国農業協同組合連合会 (JA全農) ※農業・食品産業技術総合研究機構 誠和。 セムコーポレーション ゼロエネルギーグリーンハウス (ZEG) プロジェクト 全国農業協同組合連合会 ※全農グリーンリソース 全国野菜園芸技術研究会 た 第一実業 ダイキン工業 大仙 太平洋貿易 ダイヤテックス 大和ハウス工業 ※三協立山 高田種苗/ライク・スワーン社 ※ライク・スワーン社 タカミヤ タキゲン製造	タキロンシーアイ ダブルエム ※アグロインフォ TDA デルフィージャパン デンソー/デンソーアグリテックソリューションズ ※セルトン 東亜ディーケーケー 東海テクノ 東海物産 東京インキ 東都興業 東洋紡 ※東洋紡エムシー ※東洋紡エンジニアリング トミタテクノロジー ※リッセル社 ※プリバ社 トヨタネ な 日栄インテック ※アグリセト ※クリーンファーム 日機装 日建リース工業 日本施設園芸協会 日本農林新聞社 園芸情報センター 日本養液栽培研究会 日本ワイドクロス NEXYZ. ネクレボ ネボン 農研機構 農業機械研究部門 農研機構 野菜花き研究部門 農山漁村文化協会 農林水産省	ノーユー社 ※TAVLIT ※ZIDE ※NUFiltration は ハイボネックスジャパン パナソニック ライティングデバイス ハンナインストルメンツ・ジャパン ヒラカワ フィッシャリージャーナル フィリップス (シグニファイ) 福井県 農林水産部 園芸振興課 福井シード 福栄産業 フクスイ FANJIC ※FAN JIC フタバ産業 フタムラ化学 フタテックス/コイテックス/スーパーマーケット・ホールディングス フルタ電機 ※フルタ・エネット ※フルタ熱機 プロダクトソリューションエンジニアリング 閉鎖循環式陸上養殖推進協議会 ベストクロップ ホーグス ホタルクス ま 丸善薬品産業 三菱ガス化学 みどり工学研究所 みのる産業 村田製作所 明治大学 植物工場基盤技術研究センター メイワフォーシス メトリ	八洲電業 ※WPC やまこファーム YARIGAI・ウェルグリット ※ウェルグリット ヤンマーグループ ※ヤンマーグリーンシステム ※ヤンマーアグリジャパン ※ヤンマーエネルギーシステム ユビキタス環境制御システム研究会 ら リックス ※高研 loadoff ※エムエーエスインターナショナル わ 渡辺パイプ 海外 Arianetech Hangzhou Hanguang Illumination HWASUNG INDUSTRIES Jiangsu Guangman New Materials MOITH AGRICULTURAL TECH ※H&H商事 MS TECH Prasada (Xiamen) Agricultural Engineering SHANDONG SUNBURST PLASTIC TECH 威海興海源網具 Yuk-il

出展者の声



遠方の方を含め、幅広い業種・生産者が来場していると感じた

水産業の同時開催展が増え、新規参入の需要を伺えた

来場者数の質と多さに
出展効果を感じた

真剣に製品を見てくれる方の
割合が高い

主催者特別展示コーナーとの連動により、
自社ブースへの誘導が効率的であった

出展者セミナーが満員の集客となり、
効果を感じた

来場促進活動

併催セミナー

施設園芸・植物工場の最前線を担う専門家による講演実施。最新技術の動向から経営改善のヒントまで、幅広いテーマを取り上げ、生産者・経営者へ有益な情報を発信。同時開催展を含め、のべ3,000名を超える聴講者を集めました。

GPEC2024実績セミナープログラム

※敬称略

みどりの食料システム戦略の推進(施設園芸のゼロエミッション化に向けて)

農林水産省 東海農政局長(前・大臣官房審議官(技術・環境)) 秋葉 一彦氏

施設園芸・植物工場の生産性向上に有効な「育種」などの最新技術について

(公財)園芸植物育種研究所 理事長 丸尾 達氏

赤羽いちご園での「これまでに取り組んできたこと」と「これから目指していくこと」

赤羽いちご園 園主 赤羽 耕一氏

デジタル・グリーンハウス -効率的で持続可能な園芸のためのデータ駆動型栽培 - ※通訳あり

Delphy B.V.(デルフィーB.V.)
Delphy Digital (デルフィーデジタル) Klaas van Egmond(クラス・ファン・エグモント)氏

栽培コンサルタントからみた施設園芸での持続可能な発展に必要なこと

(株)デルフィージャパン ホーティカルチャースペシャリスト 斉藤 章氏

【第1部】環境に配慮しながら利益を上げるデジタル施設園芸 豊橋技術科学大学・愛媛大学 大学院工学研究科 教授・ 大学院農学研究科 教授 高山 弘太郎氏

【第2部】農林水産業のカーボンニュートラルに向けた 農山漁村エネルギーマネジメントシステム(VEMS)および ゼロエネルギーグリーンハウス(ZEG)の研究開発

(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門
資源利用研究領域 地域資源利用・管理グループ長 石井 雅久氏

韓国植物工場をリードするプランティファームの現状と今後の方向性 ※日本語講演

プランティファーム(株) 研究所・所長 李 公仁氏

生産者向け相談コーナー

農業生産者と新規参入希望者を対象に、【補助金】・【栽培技術】・【コンサルティング】・【スマートグリーンハウス】の4分野の専門家が対応。現場の課題解決につながる実践的なアドバイスを気軽に受けられる場となっています。

主催者企画展示

会場内に特設ゾーンを設け、次世代技術や注目のソリューションをテーマにした展示を展開します。

2024実績

- 農業データ活用連携プラットフォームコーナー
アクアポニックス仕様ハウス展示
展示協力:エスベックミック(株)、ジャパンドームハウス(株)
- 収穫ロボット実機・パネル・動画視聴コーナー
展示協力:AGRIST(株)、inaho(株)、東京大学深尾研究室
- 政府告知/公庫・融資紹介パネル展示

夢は農業大国に負けないスマート農業をする

和総農園(株) 代表取締役 物江 直人氏

【農業×異業種】社員の約 60%が異業種出身。 新時代の農業を創るワンストップ・ソリューション

(株)たねまき 取締役副社長 兼 COO 前田 亮斗氏

スマート温室での栽培経験の共有 ※通訳あり

台湾農業試験場 作物科学部門 研究員兼任部門長 王 毓華氏

宇宙と地球でサステナブルな食料生産システムを実現

(株)TOWING 代表取締役 西田 宏平氏

ゼロからの農業参入〜1ha太陽光利用型植物工場の黒字化〜

NXアグリグロウ(株) 代表取締役 諸井 奈美氏

